

Gifu Occupational Therapist Association News



ご っ た に 86号

2017年 7月

事務局：平成医療短期大学 岐阜市黒野 180

TEL & Fax：058-234-6763

E-mail:jimu@gifu-ot.com <http://gifu-ot.com>

特集

# 「第21回 岐阜県作業療法学会」

目次

- ・巻頭言「作業療法の未来に向けて今、私たちにできること」
- ・活動報告（『各務ヶ原健康のつどい』・『平成29年度学部研修会（身体障害領域）』）
- ・特集〈第21回岐阜県作業療法学会〉
- ・岐阜県作業療法士会 新理事紹介
- ・私の職場の強み 〈和光会グループ 山田病院〉
- ・突撃！隣の作業療法士 『何年たっても悶々と働いています』
- ・機関誌記事投稿について
- ・生涯教育ポイントシール発行について



## 作業療法の未来に向けて 今、私たちにできること

平成医療短期大学

永井 貴士

私事ですが、現在、博士号取得のために首都大学東京大学院に所属し、身の丈に合わない努力を強いながら研究に勤しんでいます。私にとっての、この「意味ある作業」は、自分の研究疑問を解決するという作業遂行のみならず、とても貴重な経験を与えてくれます。それは、東京という日本の中心に身を置くことで、作業療法業界のトップランナー達と時間を共にすることができることです。アイドルのコンサートで狂喜乱舞しているファンの心境と同様に、トップランナーの方々と時間を共有している時の私は心を躍らせ、憧れの存在がこんなに間近にいることに夢見心地でいます。しかし、アイドルのパフォーマンスに熱狂していればいいだけのファンとは違い、そんな人達の前で自分の能力をさらけ出し、致死量に至る攻撃を体全体で受け止めなければならないため、時に地獄に落とされた心境にもなる、なんとも不思議な環境です。ずいぶん言いたいことから脱線していますが、この巻頭言で言いたいことは、そんな人達と「現在のOT業界はかなりやばい状況にある」ことをよく話します。その原因は様々でしょうが、何よりOT一人ひとりの自覚にありそうです。あなたに問います。今日のあなたの臨床は、OTとしての意味と価値を対象者とその家族に、所属する病院・施設に、地域社会に提供できましたか？今すぐOT業界が崩壊することはないでしょうが、今この時、この日々の臨床にしっかりと向き合い自己研鑽・生涯学習しながらOTのアイデンティティを構築していかないと、結果的に自分の首を絞めてしまうことになりかねない状況にすでに来ている。他人事ではない。何すればいいの？と思ってもらえたならば、最初的一步として「OTとは？」の答えを探してください。OTは「何でも屋」でも「ADLの専門家」でも「上肢のリハビリの人」でも在りません（手段として、これらの介入は行いますが）。10年先、20年先にOTが社会にとって必要な存在でいられるために、経験値だけでOTを語らず、知的成熟を伴いながら提供するOTの質と幅を広げていく必要が在ります。地方に身を置き、情報の流れに疎くなりやすい環境ですが、「知らない」は言い訳だし、気づいたら倒産していたでは済まないで、我々は自分たちの足で歩き、耳と肌で情報や空気を感じ取り、一人ひとりが役割の責任を果たす職業人の集合体として成熟していかなければならないと思う今日この頃です。私にとって、大学院での学びはOTになって17年を迎えた今でも、多くの示唆を与えてくれています。止まってはいられません。多くの大切な教え子の安心した未来とかげがえのない家族のために。



## 【第34回各務原市健康のつどい】

事業部長：山田 貴章（山田メディカルクリニック リハビリセンター）

6月11日（日）に各務原市産業文化センターで「第34回各務原市健康のつどい」が開催され、岐阜県作業療法士会の事業部と各務原市内の作業療法士を中心としたメンバーで、今年で6回目のブース参加となりました。

今回の参加者は225名で昨年度と同様大勢の方の参加がありました。今回はうちわ作りや自助具体験に加え風船ラッピングといった活動を行いました。自助具では、自助箸や自助スプーンを体験されたり、スタッフに使い方を聞いたりと興味を持って頂けました。風船作りでは、毎年小さいお子さんがうちわ作りを一生懸命に行っている間の時間にお母さんやお父さんが体験できる作業、お子さんのうちわ作りの後にプレゼントが出来るものとして風船作りを提案しました。当日を迎え、狙い通りで多くのお母さん、お父さんはもちろんのこと、小さいお子さんから年配の方まで多くの方に参加して頂けました。作業療法士の仕事内容についても聞かれることがあり、



啓発活動においてもいい機会となりました。この度の活動を通

し、作業療法士は作業活動によって市民の健康増進や予防・人との輪を作ることで元気になれる。そういう仕事をしていることを、参加した市民の方に紹介することができました。また、開催にあたり準備や当日参加していただいたスタッフの皆様本当にありがとうございました。



## 【平成29年度学術部研修会（身体障害領域）報告】

学術部長：渋谷 玲二（朝日大学病院歯学部附属村上記念病院）

身体障害領域担当：後藤 元久（西美濃厚生病院）

平成29年6月18日（日）、ハートフルスクエア-Gにて学術部研修会（身体障害領域）が行われました。参加者は県士会員23名、非会員5名計28名でした。以下に報告をします。

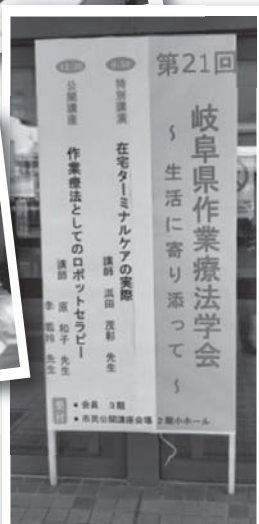
今回は講師に岩砂病院・岩砂マタニティの萩野勝也先生を招き『高次脳機能障害に対する自動車運転支援 ～法律や進め方について～』の講義をして頂きました。内容は法律や制度などの難しい内容を分かりやすく解説していただきました。また岩砂病院の自動車運転マニュアルの紹介や実際の事例紹介、臨床での疑問に対するQ&Aと充実した内容でした。こうした素晴らしい取り組みを県内でされている岩砂病院の自動車運転支援チームの皆様を知る機会を得たこと、他地域、他施設でも運転支援に対する取り組みが広がっていいかと良いです。また来年度も皆さまのご参加をお待ちしています。





# 第21回 岐阜県作業療法学会

終了しました



☆テーマ：

生活に寄り添って

☆参加者数 (226名)

県士会員：183名

学生：37名

非会員：5名

一般市民：1名

## 第21回岐阜県作業療法学会を終えて

学会長 渡邊 紀子  
(土岐市立総合病院)



平成29年5月14日(日)に土岐市の産業文化振興センター(セラトピア土岐)において第21回岐阜県作業療法学会を無事終えることができました。

『生活に寄り添って』というテーマのもと、特別講演では、多治見市で長年訪問診療をけん引してこられた浜田茂彰先生に『在宅ターミナルケアの実際』をご講演いただきました。先生が在宅で1500名近くの末期がん患者を看取り、どう関わってこられたかを、実際の8例の

ケースを中心に率直に語られ、その患者様への深い思いに感銘を受けました。

市民公開講座では、岐阜保健短期大学の原和子先生と中部大学の李載始先生に『作業療法としてのロボットセラピー』と題して講演いただき、実際にロボットを使ってコミュニケーションを図る様子を見ることができました。今後の作業療法の方向性の一つを示唆していただきました。

また教育講演では、『高次脳機能障害者の社会復帰に向けて』『暮らしを支える訪問リハビリの作業療法を考える』『使って活かそう!生活行為向上マネジメント』の3題を講演していただきました。それぞれ熱のこもったお話を聞けたと伺っています。また演題発表も19演題と多くの発表をしていただき、質疑応答も活発でした。今後の臨床に生かしていただけたらと思います。

最後に、東濃地区で学会を開催するにあたり、50名の会員に運営スタッフとして協力していただくことができました。新人会員、一人職場会員との交流も図られ、今後の東濃地区のOTの結束につなげていきたいと考えています。この場をお借りしてご協力いただいた実行委員と運営委員の方々に感謝申し上げます。



## 第22回 岐阜県作業療法学会

開催日：平成30年 5月27日(日) 会場：羽島市文化センター

みんなで盛り上げましょう☆

### <新理事紹介>



この度、東濃地域の地方局を担当させていただきます。中津川市民病院の鈴木隆史と申します。東濃地域のOTの活性化、繋がりの強化を目指したいと考えております。若輩者ですが、どうぞよろしくお願い致します。

# 私の職場の強み

第4回



## 和光会グループ 山田病院



113床の一般・地域包括ケア・回復期リハビリテーション病棟を備えています。病棟全てに在宅復帰機能を有し、全病棟365日リハビリテーションを提供します。

### 院内デイ活動

地域包括ケア病棟では、作業療法士を中心に心身機能の向上だけでなく、患者様やスタッフの交流の場の確保を行いながら、認知症予防に努めています。



### 小児リハビリ

発達障害のお子さんを中心に脳性麻痺やダウン症などのお子様に対して、外来で訓練を行っています。必要に合わせて、車椅子や装具の作成もおこなっています。



### リハビリマネジメントシステム

和光会グループは、64の施設を持ち、子育て、保健、医療、福祉における施設があり、それぞれの連携を重視し質の高い関わりを心がけています。

山田病院では、生活行為聞き取りシート、興味チェックシートを重要視しています。それにより聴取した本人様のニーズを次の施設へと申し送る事で、退院後もQOL向上、目標達成に努めています。



～山田病院～寺田ガーデン（介護老人保健施設）の例～

脳血管障害の麻痺と高次脳機能障害がみられる患者様が病院でリハビリを受け、麻痺の改善はみられましたが、高次脳機能障害の残存により職場復帰が困難となりました。本人のニーズを寺田ガーデンに申し送りを行い、社会技能スキルの獲得を目指し、職場での必要スキル獲得を目指して訓練を行う等の連携を行います。





## 私にとっての OTとは

東 灘 工 三



### 何年たっても悶々と働いています

去年から高齢者の多い療養病棟の担当になりました。担当となったばかりの頃は、身体機能の維持が最優先と言わんばかりに、私は毎日体操をしており、これで良いのかな？と悶々とする日々でした。

ある患者さんが、(今後迎えるかもしれないその時の選択として) 延命治療を希望しますか？との質問に“希望する”と答えたそうです。身寄りが無く、幻覚に苦しみ長期入院、身体が思うように動かなくなり、それでも生きたい！と思ったのです。私はそれを聞いた時少しホットしました。この病棟を担当し、切なくなることも多いです。ゆるやかに時間が流れる病棟ですが、身体や認知機能の低下は著しい。でも身体機能が回復したら、患者さんは幸せを感じることが出来るのだろうか？とも思うのです。患者さんが生きている！という実感が持てるような事をしっかり模索していきたい。

平成14年 平成医療専門学院卒業後、  
社会医療法人緑峰会 養南病院に就職

### 機関誌「岐阜作業療法」論文投稿について

岐阜県作業療法士会、機関誌編集部の石川です。現在、作業療法第20巻の発刊に向け、論文を募集しております。

これまで学会で発表した内容や、日々の臨床で疑問に感じていることなど、論文にして投稿してみませんか？論文にすることは難しいと感じている先生方も多いと思います。文献を調べたり、データを集計したり、統計を用いて解析をしてみるなど、論文を完成させるまでの過程で勉強になることが沢山あります。

臨床業務でお忙しいと存じますが、論文投稿という新しいチャレンジをしてみてもいかがでしょうか？皆様からのご投稿をお待ちしております。

【論文を投稿してから、採択されて掲載されるまでの流れ】

- ① 機関誌編集部あてに論文をご投稿頂きます。
- ② 投稿規定に沿って編集部担当者が確認し、査読担当の先生へお送りします。
- ③ 「採択」となれば、そのまま機関誌へ掲載されます。「修正後再査読」となれば、指摘事項を修正して頂いた後に再度ご投稿頂き、査読の手続きを行います。

※論文について不明な点がございましたら、担当者までお問い合わせ下さい。

岐阜県作業療法士会 機関誌編集部  
山田病院 リハビリテーション部内 担当者：石川真太郎  
連絡先：s-ishikawa@wakokai.or.jp

# 「日本作業療法士会・生涯教育ポイントシール」 配布について

生涯教育部：林 節也（岩砂病院・岩砂マタニティ）

生涯教育部では、随時、生涯教育ポイント該当研修会（日本作業療法士協会、各都道府県作業療法士会主催・共催以外の学会・研修会等）で発行された受講証明書と生涯教育ポイントシールとの交換、配布を行っております。

各研修会の受講証明書をお持ちの方は、受講証明書と返信用封筒（82円切手貼付）を同封の上、岐阜県作業療法士会 生涯教育部（下記住所）へ郵送してください。内容を確認出来次第、生涯教育ポイントシールを郵送にて配布します。

尚、受講証明書は、研修会開催年度内に生涯教育ポイントシールと交換することが原則となっております。平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）に開催された研修会分の受講証明書は、平成30年3月末までに生涯教育部へ郵送していただきます様、ご協力お願いいたします。

郵送先：

〒502-0812 岐阜市八代1-7-1

岩砂病院・岩砂マタニティ リハビリテーション科 作業療法室  
林 節也 宛

\*往信用封筒には「受講証明書在中」と朱書き

## 【会員数・会員所属施設数】

平成29年6月24日現在 岐阜県作業療法士会会員数501名(休会7名を含む)  
所属施設数 135施設

## 岐阜県作業療法士会ニュース

「ごったに」編集：岐阜県作業療法士会（広報部）

岐阜中央病院 リハビリテーション療法課 作業療法室

〒501-1198 岐阜市川部3丁目25番地

TEL. 058-239-8111 FAX. 058-239-8216

山田病院 リハビリテーション科 作業療法部門

〒501-0104 岐阜市寺田7丁目110番地

TEL. 058-254-1411 FAX. 058-254-1413

## 【編集後記】

夏真っ盛りとなり活動的な日々をお過ごしでしょうか。屋外でのイベントも増えてくる時期となりました。元気に過ごすにはまずは体調ですね。体調に気をつけながら楽しい夏を過ごしましょう。